



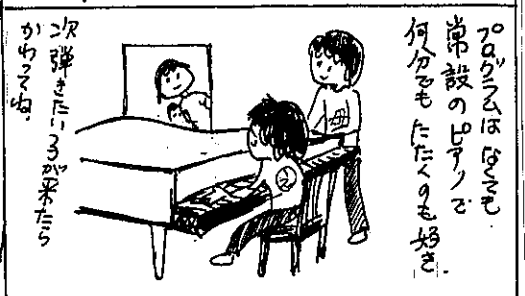
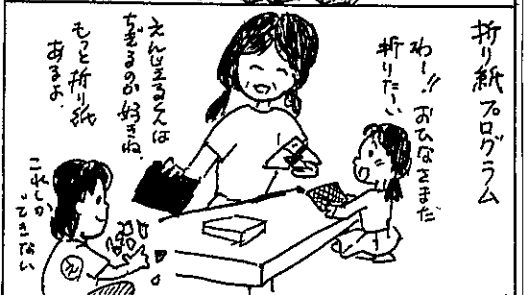
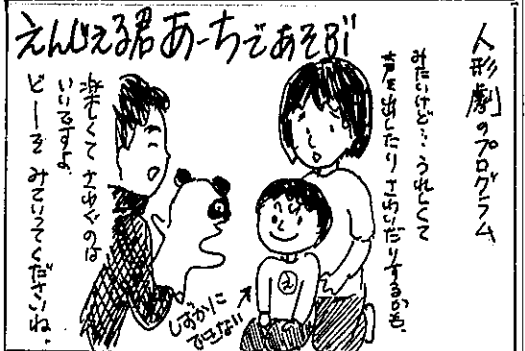
あーちでの新型コロナウイルス拡大防止について

連日、新型コロナウイルスについてのニュースで不安な気持ちになられていることと思います。あーちも、3月に入って灘区民ホールが閉館となり、休館に追い込まれました。まだ、いつ再開できるのか、予想ができない状況です。「早くあーちでみんなの顔を見たいな」と思っている方も多いのではないかと思います。もう少しご辛抱ください。

4月も予定を立てることができないので、あーち通信の予定表も作成できません。再開できた時点で予定を組み直して、館内でお知らせすることにいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解ください。

しばらく辛い日が続きますが、どうぞお元気でお過ごしください。

えんじえる君II by Bon



私は、この原稿を3月半ばに書いています。毎日の新型コロナウイルスのニュース、憂鬱になりますね。そんな中、こちらには、春の訪れとともにきれいな色の小鳥たちが戻ってきています。彼らはよく春

を知っています。ところで、“Now I am coming home.” 直訳すると「今、家に来るよ。」ですが、日本語に訳したら「今、家に行くよ（帰るよ。）」と言いますね。アメリカで育った日本人の子どもさんの中には、英語を日本語に直訳してしまい学校から家に帰るときに、「今、家に来るよ。」と言ってしまうことがあるそうです。これとは反対に“Dinner is ready.”「晩御飯できたよ。」と言われて、「はい、今行くよ。」と日本語では言うので、“I am going.”とgoingを使いたいところですが、英語でそれを表現するのなら、“I am coming.”になります。「今、行くよ。」を“I am going.”と言うと、どこかに出かけるという意味になってしまふんですね。“Would you like to go out for dinner?”「晩御飯に出かけない？」今の状況が落ち着いて、こんなお誘いのことを気軽に言える日が早く来てほしいものです。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

リレートーク

わたしと「よる・あーち」

「よる・あーち」には、いろいろな人たちが来ています。学生をはじめ、よる・あーちに参加している人のあーちでの経験を、リレートーク形式で綴ってもらいます。

お世話になっております。猪原さんからバトンを受け取りました渡邊康太です。あーちでは「なべ」と呼んでもらっています。1年間と短い時間でしたが、その間に感じたことを伝えられたと思います。

あーちに参加した理由は兄が軽度のサヴァン症候群で自分も軽い高機能自閉症とA D H Dの合併症であったことから、将来に向けて障害者との付き合い方を勉強するためでした。でもおかしなことにそのことをつい最近まで忘れてしまっていました。それはきっと『障害』とその「向き合い方」に対する印象が変わった証拠なんだろうなと思っています。あーちに参加するまで「障害者」と聞くとコミュニケーションの取りにくい重度の方ばかりを想像していたので、あーちに来ていい意味で驚かされました。軽度の子から重度の子までいるけれど、みんな気構える必要がないくらい接しやすかったのも、あーち初日から何か変われる気がしました。何週間か通ったくらいで、障害者に対して「何かが人より苦手なだけ」という印象を持ち始めました。そう思えるようになってから、その子の苦手は何なのか、どうすればコミュニケーションに支障が出ないかを考えてたのかなと思います。そう考えると障害があってもなくても人との接し方に大きな違いは無いんじゃないかなと今では思います。

こう考えられるようになったのはきっとあーちの自由な空気のおかげなんだろうなと思います。みんな自分を隠すことなくありのままにいるから、いろいろな子の素の部分垣間見れて、触れることができ、考えることができたんだと思います。多分僕もそれに引っ張られていたんだろうなと思っていて、一時期あーちでの様子を親と電話で話していると、「いい声してるね。」と言われました。そう言われるたびに参加してよかったなと思えます。

4月からなかなか来られないので少し寂しいです。一緒に遊んでくれた子はどうしてるかなと思うと顔を見に行きたくなります。なんとか時間を見つけて遊びに行こうと思っているので、もし遭遇した際にはよろしくお願いします。

1年間ありがとうございました！

「うえきやのくまさん」

作・絵：フィービとジョーン・ウォージントン

訳：まさきりこ

福音館書店 1987年5月発行



うえきやのくまさんの1日のお話です。

朝、くまさんは仕事の準備にかかります。それからお隣のお家へ行って、庭の手入れを始めます。ていねいに仕事をし、おやつをいただき、くまさんはお金をもらいます。

働き者のくまさんは、午後も自分の家の畑で仕事です。育てた野菜と花を、近所の人買いにやってきます。お客さんに「こんにちは」「どうもありがとうございます」のあいさつも忘れません。野菜と花を売り終えて、お家に帰ると片付けもします。そして晩ご飯を食べたら寝る。そんな1日を淡々とこなし、明日も明後日も繰り返すのでしょ。そんなくまさんが、とても愛おしく、明日になったらくまさんに会いたくなって、また読みたくなるお話です。

(あーちスタッフ 永野郁子)

※シリーズに、「せきたんやのくまさん」「パンやのくまさん」「ゆうびんやのくまさん」「ぼくじょうのくまさん」があります。

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール3階
TEL & FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館時間 火～木・土曜日 10:30～16:30 金曜日 10:30～20:00

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971